

野外炊飯

期待される効果

思考力	判断力	表現力	創造力	コミュニケーション能力	体力	生命尊重	感動する心	知識・技能	協調性	主体性	課題発見	課題解決能力	自然への気づき	自然愛護
○	○			○				○	○	○	○	○		

活動場所	炊飯棟	対象	小学4年生～一般
班の人数	10人～12人	所要時間	3時間～4時間半
団体側の準備物	水筒・帽子・タオル・軍手・スポンジ（各班4つ）・金たわし（各班2つ） 洗剤（各班1本）・台ふき（各班1枚）・食器用ふきん（各班2枚）		
施設側の準備物	食材・包丁・まな板食器類（皿、箸、スプーン）・鍋10点セット やかん・新聞紙・マッチ・かわ手袋		

活動の内容

- 火をおこして火を調整したり、飯盒でご飯を炊いたり、日常とは違う調理をする中で、みんなで協力して食事を作り上げる喜びや、共に食事をする楽しさを味わう。
- 自然の中で炊飯することの楽しさを味わい、仲間との親睦を図る。
- 炊飯活動を班で協力して取り組むことで、主体性や協調性を養う。
- 炊飯・火おこしの知識・技術や、けがや火傷などの危険を予測することで自助・共助力を養う。



活動の流れ

- ① 活動についての説明
《資料・道具の説明》
 - ・活動場所について説明（管理棟・トイレ・かまどの場所）
 - ・各係の手順について説明（炊飯メニューによって異なる）
- ② 調理開始
- ③ 食事
- ④ 片付け（施設職員による用具の点検）
- ⑤ ふりかえり

留意点

- 津波警報発令時は、**自然の家屋上**へ避難する。
- 班で行動し、適度に休息・水分補給を入れる。
- 調理開始前に手を洗い、道具を水洗いする。
- 包丁の取り扱いに注意する。
- 火を扱う時は必ず軍手と革手袋をする。
- 食材の持ち込み、持ち帰りはしない。（自然の家レストランに注文の場合）

引率者の動き

（事前）

- 1班10～12人の班の編成を行い、各係（メニューによって異なる）を決めておく。
- 団体側の準備物（上記）を準備する。

（当日）

- 津波警報発令時は、**自然の家屋上**へ避難誘導をする。
- 各班付き指導もしくは巡回指導（安全管理）をする。